

平成二十八年度 大学院人文科学府修士課程第1期入学試験問題

(東洋史学)

次の各問に答えなさい。(解答は解答紙に記入)

問 I 明代に特に多くの科挙合格者を輩出した地域について、その時代的変遷と、各地域における文化的・政治的・社会的背景について述べなさい。

問 II 次の各語について、簡明に説明しなさい。

- ① 淮西集団
- ② 郭桓案
- ③ 江西行省
- ④ 国子監
- ⑤ 糧長
- ⑥ 台閣体
- ⑦ 黄子澄
- ⑧ 呉晗
- ⑨ 『皇明祖訓』
- ⑩ 『御製大誥』

### 問Ⅲ 次の史料を書き下し文にしなさい（解答の字体は常用漢字でも可）。

永樂二年甲申科、學士解縉為正主考。得江西泰和人劉子欽為第一。劉本省癸未解元聯捷。解愛其才、面許以必得狀元、劉直任不讓。解心薄之、以題密示江西永豐人曾棨得狀元、其題以禮樂制度為問。上意必欲得淵博之士、然非夙構、不能詳對。故子欽竟紕、猶得選庶吉士。然則曾襄敏敏重名高第、亦不免以關節得大魁矣。今世多知楊・張、而未必知曾。然曾與劉子欽俱吉水人。而曾棨亦同郡人、當時不以為嫌也。

是科選庶吉士二十八人、以為上應列宿。而江西占十七人、吉安一府、又居其半。浙江得七人、南直隸二人、福建・湖廣各一人。所謂揆宿周忱者、又吉水人也。而蜀・兩粵・雲・貴以及中原四大省、及北直無一焉。正與正統戊辰科。但選蜀人與北人、相反之極。

又是科會試取四百七十二人、見楊東里所作羅簡志銘中。本朝甲榜、自洪武乙丑後、未有如此之多者。但是科會元又有云楊相者、未知孰是。簡亦是科庶吉士、亦吉水。簡字汝敬、後以字行。又是科庶常陳士啟者、江西泰和人。先以進士觀政于後軍都督府。時掌府者為成國公朱能、器士啟才、甚相知愛。可見五府亦有觀政。

是年曾棨為永豐人。而第二周述、第三周孟簡、俱吉水人。從兄弟也。又是年鼎甲俱入館讀書。合之吉士、江西凡得二十一名。按是年廷試後、即選吉士五十一人。其他以善書選入同入館者、亦附吉士之列、總為六十一人。蓋庶常之盛、亦無踰是年者。

（沈德符『萬曆野獲編』卷十四「關節狀元」）